

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

令和4年4月14日

計画の名称	大阪狭山市における民間活力を導入した計画的な管路改築事業（防災・安全）		
計画の期間	平成28年度 ～ 令和2年度（5年間）	交付対象	大阪狭山市
計画の目標			

本市の下水道事業は汚水整備は概成し、建設から維持管理へ事業が移行しており、施設の老朽化対策及び適正な維持管理が求められている中で点検・調査と併せて管渠、人孔蓋、公共柵及び取付管の改築工事を長寿命化計画に併せて一体的に進めることで、市民の安全で快適な暮らしのあるまちづくりが創造できる。

計画の成果目標（定量的指標）										
・長寿命化対象施設の緊急度Ⅰ,Ⅱの管渠のうち社会的影響度の高い管渠の改築・更新を実施し、管渠の機能確保率を0%（H28当初）から100%（R2末）に向上させる。 ・長寿命化対象施設の緊急度Ⅰ,Ⅱの人孔蓋のうち社会的影響度の高い人孔蓋の改築・更新を実施し、人孔蓋の機能確保率を0%（H28当初）から100%（R2末）に向上させる。										
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値					備考
					当初現況値 （H28当初）	中間目標値 （H30末）	最終目標値 （R2末）			
①長寿命化対象施設の緊急度Ⅰ,Ⅱの管渠のうち社会的影響度の高い管渠の機能確保率 機能確保済の管渠（m）／機能確保すべき管渠（1,008m）					0%	61%	100%			
②長寿命化対象施設の緊急度Ⅰ,Ⅱの人孔蓋のうち社会的影響度の高い人孔蓋の機能確保率 機能確保済の人孔蓋（箇所）／機能確保すべき人孔蓋（80箇所）					0%	71%	100%			
全体事業費	合計 （A＋B＋C）	93百万円 82百万円	A	93百万円 82百万円	B	-	C	-	効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	0% 0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期（意見募集の期間）
大阪狭山市下水道工務グループ内で、計画の定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などの検証を行った。 本事後評価書（案）及び参考図面を公表し、意見募集を行う。	令和4年3月30日 から 令和4年4月13日 まで 公表の方法 大阪狭山市下水道工務グループ窓口、市情報公開コーナー及び、市ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H28	H29	H30	H31(R1)	R2		
A07-001	下水道	一般	大阪狭山市	直接	—	管渠 (汚水)	改築	下水道管渠及び人孔蓋長寿命化事業	長寿命化計画事業実施φ250 L=1,008m 人孔蓋80箇所 L=920.2m 人孔蓋81箇所	大阪狭山市						93 82	
合計															93 82		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31(R1)	R2			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31(R1)	R2			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道長寿命化計画（管渠、人孔蓋）に基づき、改築更新を実施したことで、事故の未然防止及び持続性のある良好な下水道サービスの提供に努めた。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（長寿命化 対象施設の緊急度 Ⅰ、Ⅱの管渠のうち 社会的影響度の高 い管渠の機能確保 率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画延長（1,008m）に対して、920.2mの改築・更新を行った。 未実施の管渠については、今後のポンプ場の改築等に併せて実施する。
		最終実績値	91%		
	指標②（長寿命化 対象施設の緊急度 Ⅰ、Ⅱの人孔蓋のう ち社会的影響度の 高い人孔蓋の機能 確保率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も継続して、計画的な施設の点検調査、改築更新及び耐震化を進めていく。 また、雨水整備については、浸水被害の可能性が懸念される箇所から優先的に、既存施設等を活用しながら効果的・効率的な整備を進めていく。 維持管理については、現在実施している包括的民間委託により下水道サービスの維持、向上を行い、市民が安全で安心して暮らすことができるまちづくりに努めていく。					